

## 研究課題の名称

COPD（慢性閉塞性肺疾患）における経皮的 CO<sub>2</sub> モニターの有用性の検討

## 研究の目的及び意義

### <目的>

COPD 患者が高 CO<sub>2</sub> 血症を合併しやすいことは知られている<sup>1)</sup>が、動脈血中 CO<sub>2</sub> 濃度の測定は、採血に苦痛を伴うこともあり、頻回の測定は、実用的ではない。

COPD の肺機能検査による重症度 ( GOLD2) による重症度) によって高 CO<sub>2</sub> 血症が相関するの  
か、あるいは日内変動を呈しているのかについての経時的モニタリングは、動脈血採血  
による CO<sub>2</sub> 濃度測定上は限界がある。そこで、近年開発された経皮的 CO<sub>2</sub> モニターを用  
い、COPD 重症度との関連を検討する。

### <意義>

COPD 患者の肺機能によるステージによる高 CO<sub>2</sub> 貯留患者割合を把握する。

また、ステージごとの高 CO<sub>2</sub> 貯留患者における自覚症状指標 ( CAT score<sup>3</sup>、EXACT ならびに  
E-RS Score<sup>4</sup>、急性増悪頻度) と高 CO<sub>2</sub> 貯留患者との相関の有無についても検討する。

## 研究対象者の選定方針

対象者は、肺機能検査にて閉塞性障害をきたし、胸部 CT 検査または胸部 x 線検査、問診にて COPD の診断となった患者。年齢は 20 歳以上で性別は問わない。呼吸器内科外来受診時に、肺機能検査で閉塞性を呈した者に対し、COPD の病態と経皮的 CO<sub>2</sub> モニターの必要性を説明し、研究参加への同意書を作成する。除外基準は、COPD 以外の閉塞性肺障害を除外できない者、研究への参加の同意が得られない者とする。

## 研究予定期間

承認日 (2019 年 8 月 6 日) から西暦 2020 年 3 月 31 日